

ISSN 2186-6260

近畿大学総合社会学部紀要

第十一卷 第二号 二〇二四年三月

総社る

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

S O C I A L

2024.3
Vol.12 No.02

総社る

S O C I A L

2024.3
Vol.12 No.02

近畿大学総合社会学部紀要
Kindai Applied Sociology Review

近畿大学総合社会学部紀要

第12巻 第2号 2024

目 次

—特集 AIと教育—

座談会 3

■原著論文

VTuber コンテンツツーリズムの観光メディアコミュニケーション

—周央サンゴ×志摩スペイン村コラボイベント「みなさま～（広報大使）志摩スペイン村へ、来て！」を中心に

..... 岡本 健 17

生成 AI を活用した AI リテラシー教育の検討

..... 保本正芳 33

■評論

近代技術と社会・環境の関係性に関する一考察

..... 久 隆浩 41

■研究ノート

言語生成 AI は文の意味を理解しているか：

真理条件的意味論の立場から

..... 西村香奈絵 53

■原著論文

イベント・サブポピュレーションによる友人・知人数推定と推定法の改良

—新型コロナウイルス感染者数と東日本大震災死亡者数を手がかりに—

..... 辻 竜平 65

大型犬との短時間のふれあいによる疲労低減効果の実験的検討

—セラピー犬とのふれあいによる癒し効果—

..... 漆原宏次・播磨谷莉穂・皆川春咲・北条弘晟 75

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

..... 89

Kindai Applied Sociology Review

Volume 12, No. 2 2024

CONTENTS

—AI and Education—

■ Opinion

Symposium..... 3

■ Articles

Characteristics of Media Communication in VTuber Content Tourism:
An Example of a Collaboration Event between Suo Sango and Shima Spain
Village
..... Takeshi OKAMOTO 17

Examination of AI Literacy Education Using Generative AI
..... Masayoshi YASUMOTO 33

■ Criticism

A Study on Relationship between Modern Technology and Society/Environment
..... Takahiro HISA 41

■ Research Note

Do Language Generative AIs Comprehend the Meaning of a Sentence?:
A Perspective from Truth-conditional Semantics.
..... Kanae NISHIMURA 53

■ Articles

An Estimation of the Number of Friends and Acquaintances using Event Subpopulation
and a Revision of the Estimation Model:
By the Number of those Who were Infected with COVID-19 and Who Died from
The Great East Japan Earthquake
..... Ryuhei TSUJI 65

An Experimental Investigation of Fatigue-reduction Effects Caused by Short-term
Contact with a Large Dog:
Healing Effects of Interaction with a Therapy Dog.
Kouji URUSHIHARA, Riho HARIMAYA,
..... Haruki MINAGAWA, Hiroaki HOJO 75

Manuscript submission guidelines of *Kindai Applied Sociology Review*
..... 89

Cover design: Daisuke MAEDA

近畿大学総合社会学部紀要投稿規程

紀要の名称

総合社会学部紀要

英文：Kindai Applied Sociology Review

紀要の形態

B5 縦長，左開き横書き，右開き縦書きで，いずれも本文は2段組とする。

この規程は，総合社会学部紀要への投稿に関する取扱事項を定めたものである。

1. 投稿者は，近畿大学総合社会学部専任教員，兼担教員，兼任教員とする。兼任教員は，専任教員を通じて原稿を提出する。
2. 原稿は，総合社会学部の扱う学問領域に鑑みて適正な範囲に収まっていることとし，その内容については，著者が責任を負う。
3. 原稿区分は，原著論文，総説，書評，研究ノート，評論とし，その内容は，下記のとおりとする。

原著論文 (Article)

オリジナリティ（学術的新規性）のある論文で原著論文としての体裁を整えているもの。

総説 (Review)

最近の学術的知見や成果等を骨子として総合的に論述し，オリジナリティのある結論を導き出しているもの。

書評 (Book Review)

国内外の著書等の内容に関する紹介記事で学術的に価値があるもの。

研究ノート (Research Note)

調査報告や実験結果など，論文としては完成されていないが，今後，論文や著書に発展する可能性があるもの。

評論 (Opinion)

学術的な内容を含むが，論文という形式を取らず，随筆，研究史，問題提起など，より自由な形式を持つもの。

4. 紀要委員会（以下「委員会」という）は，投稿原稿の掲載の適否を判断するため，審査を行う。また，委員会は，投稿者に対し原稿内容と原稿区分についての補筆や修正を求めることができる。
5. 紀要委員長は，1，2名の審査委員を委嘱し，投稿原稿の査読を依頼する。査読委員の意見が分かれる場合は，紀要委員長が扱いを決定する。
6. 原稿は原則として未公刊のものに限る。
7. 原稿の長さは原則として，刷り上がり20ページ以内とする。目安としては，日本語論文では30,000字以内，英語論文では10,000語以内とする。
8. 発行は年度中2回（9月と3月）とし，原稿の提出希望締切日と原稿の提出締切日は別途定め，これを厳守する。

9. 原稿の提出は、募集期間中（原稿の締め切り1ヶ月前から締め切り日まで）に、原稿に紀要原稿添付票を付して各専攻の紀要委員宛てに行う。
10. 原稿の受理日は審査委員からの受理日を原稿受理日とする。
11. 執筆者の校正は2回までとする。内容及び図表などの大幅な変更、追加は原則として認めない。
12. 投稿された論文の著作権は近畿大学に帰属し、掲載された論文については冊子体として、またPDFなどの媒体でレポジトリなどに公開されることを投稿者および共著者は承諾する。
13. 別刷りは、論文ごとに30部を無料配布とする。

付則

1. この規程は、平成22年7月26日より施行する。
2. この規程の改正は、平成27年9月14日より施行する。
3. この規程の改正は、令和元年7月17日より施行する。

記述上の注意

1. 原稿は縦書き、横書きのいずれでもよい。
2. 原稿は、文字の大きさを10ポイントとし、ワードファイルで各専攻紀要委員に提出する。
3. 図、表、写真、脚注などは本文データに挿入するか、別データで添付して、挿入位置などの説明を明記する。
4. 原稿中に通常の欧文以外の言語・文字（ハングルなど）を使用する場合はあらかじめ紀要委員に連絡し、印刷に支障のない措置を取る。
5. 図、表、写真を引用する場合、著者自身の責任で著作権の許諾を得ておく。
6. 投稿時には、原稿に紀要原稿添付票を付して提出する。
7. 原稿記述の詳細、引用文献、脚注などについては、それぞれの専攻によって別途定める。

執筆者紹介（目次順）

小泉 隆平	近畿大学総合社会学部	教授（臨床心理学）
岡本 健	近畿大学総合社会学部	准教授（観光社会学, メディアコンテンツ論）
上野 将敬	近畿大学総合社会学部	講師（霊長類行動学）
保本 正芳	近畿大学総合社会学部	講師（環境情報学）
Richard Derrah	近畿大学総合社会学部	准教授（教育）
久 隆浩	近畿大学総合社会学部	教授（都市計画, 都市学）
西村香奈絵	近畿大学総合社会学部	准教授（言語学）
辻 竜平	近畿大学総合社会学部	教授（教理・計量社会学, 社会ネットワーク分析）
漆原 宏次	近畿大学総合社会学部	教授（学習心理学, アニマルセラピー）
播磨谷莉穂	福祉法人常徳会興正学園	相談員（臨床心理学）
皆川 春咲	北見児童相談所	相談員（臨床心理学）
北条 弘晟	株式会社エルチェ レンテ市川第二	相談員（応用行動分析, 臨床心理学）

紀要委員

小泉 隆平, 岡本 健, 上野 将敬, 保本 正芳, Richard Derrah

近畿大学総合社会学部紀要 第12巻第2号 2024年

2024年3月31日 印刷

2024年3月31日 発行

編集・発行 近畿大学総合社会学部

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

(06) 4307-3062

Kindai Applied Sociology Review